

## 事業実績シート

### 1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業補助金			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	平戸市	産業振興部 商工物産課	松尾 桂宏	0950-22-4111
事業期間	開始年	平成 21 年 4 月 1 日 (7 年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[ 補助金 ]			
実施期間	(開始日) 平成 28 年 4 月 1 日		(完了日) 平成 29 年 3 月 31 日	
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	平戸市自体、また平戸の産品、食、生産者及び関係団体		平戸市内の生産者や関係団体と連携しながら、首都圏、関西圏及び福岡都市圏等の飲食店、百貨店、直売所等において常設店舗の開設やフェアなどを開催し、平戸市の食・産品の魅力アップを図り、産品のブランド化を目指すとともに、平戸市そのものの知名度向上によるブランド化を推進する。取り組みを通じて、平戸産品の販路・取引が拡大し、最終的には人との交流、さらには定住促進を目指す。  また、平戸の食が広く認知されることによって、産品を通じて地域のイメージアップが図られ、価格の上昇、販路・取引の拡大による「生産意欲の向上」や「地場産業の安定と後継者の確保」にも繋げる。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	<p>1. 首都圏アンテナ飲食店連携事業</p> <p>東京上野に平戸市公認居酒屋としてオープンした「長崎県 平戸漁港 六次朗」において、平戸産品のPRと販売促進に併せて、テストマーケティングの場として活用して、首都圏に流通を図りたい素材を活用したフェアを実施し、料理人や消費者の反応を検証して生産者にフィードバックを行った。また、九州の地魚料理を打ち出した飲食店と連携し、平戸を出したメニュー化による平戸産品を広く活用した取引の拡大を行った。</p> <p>2. 首都圏小売店店連携事業</p> <p>首都圏でいつでも平戸産品が購入できる販売拠点を創出し、首都圏小売店と連携して本市の観光や物産情報と合わせて食の魅力を消費者に伝え、平戸ファンを獲得し年間を通じた安定的な取引へと繋げる事業を実施した。また、新規の販売拠点として、首都圏における「質の高い食が揃うまちのイメージが確立されているエリア」「質の高い商品を取り扱う小売店」両方を兼ねそろ</p>			

## 事業実績シート

えた「三越恵比寿店」の食品フロア内に平戸市単独のアンテナショップをトライアルショップとして開設し、農水産加工品、スイーツ、農産物など広く商品をPR販売し、平戸のブランド力を強く高めるとともに大手百貨店グループとの繋がりを強固となり、今後の展開へも繋げることができるよう事業を実施した。

### 3. こだわり産品販売促進事業

本市産品の中でも生産者がこだわりを持ち栽培、製造した商品に高付加価値を付けることで他商品との差別化を図り、より質の高い平戸産品をアピールし平戸産品全体の消費者ニーズを高めることができよう、有機野菜、無添加商品などの”こだわり産品店舗”とタイアップした販売とPR事業を実施した。

### 4. 関西・福岡都市圏物産拠点創出事業

#### (1) 福岡都市圏における販売拠点の創出

福岡市内で生活に密着したエリア、店舗において、”いつでも平戸の商品が購入できる、味わえる”拠点づくりを行い観光情報と合わせて広告宣伝を行った。販売拠点は、天神、博多駅周辺を中心に、催事に合わせて平戸コーナー設置等の展開を実施した。

#### (2) 関西圏における販売拠点の創出

長崎県とタイアップし阪急梅田駅構内での平戸に特化した店舗型物産展を実施し、関西での平戸産品の認知度を高めるとともに、関西の消費者ニーズを検証し、年間を通じた取引へつなげる足がかりとする催事を実施した。また、全国各地の観光物産展のみが行われる大阪のイベント会場において平戸市単独の観光物産展を行い、関西での物産振興と知名度アップを図るとともに平戸産品に対するニーズの調査を目的とし催事を実施した。

### 5. 飲食店平戸産品販売促進事業

首都圏、関西圏及び福岡都市圏の飲食店やホテルレストランとタイアップし平戸の食材を使ったフェアを開催し、ブランド力の向上を目指し、フェア後も取引へと繋げる事業を実施した。

### 6. 観光プロモーション連携事業

観光情報と物産を連動させた事業として、首都圏で平戸の地名を前面に出した観光物産展を開催し、平戸産品のPRと消費者の購買動向やニーズの把握を行った。

### 7. 平戸ブランド確立事業

平戸市地域資源ブランド化推進協議会では首都圏を軸に地場産品の流通、各種プロモーション活動を実施しており、流通システムの確立や取引量の拡大により常に首都圏の市場や百貨店やスーパーの食品フロアなどで“平戸産”を目にするようになり知名度も向上してきたが、ホテルや飲食店の“平戸産へのこだわり”についてはまだまだ乏しいとの意見が、消費者や視察に来た首都圏バイヤー、料理人からも聞き取れる。そのため真の平戸ブランドを確立するためには足を固めることも大事であり、生産者が消費者目線を再度取り戻すこと及び観光部門と連携し平戸市内のホテル、飲食店の“平戸産”への意識の高揚を図るため料理人や飲食、宿泊業における成功者の招聘事業を行った。

## 事業実績シート

	<p>8. 協議会運営費</p> <p>関係団体等で構成する協議会の運営を行った。</p>
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	<p>(事業開始の背景)</p> <p>市内の1次生産者である農業・漁業従事者は、一部では直売所での販売を展開しているものの、市場や系統出荷を流通の主体としており、流通実態や経済情勢（デフレ傾向）によって収益の確保が難しい状況に置かれている。また、加工業者においても有利な販路を有する場合を除き、価格競争により1次生産者同様の厳しい状況にある。</p> <p>そこで、平成20年度に、市内の各関係者（生産者・加工業者・農協・漁協・森林組合・飲食店・宿泊施設・直売所・商工会議所・観光協会など）から成る「平戸市地域資源ブランド化推進協議会」を設立し、明確な戦略性のある取り組みを強力的に推進することにより収益確保と生産意欲の向上、後継者の確保などを行うことを目的として実質的に平成21年から事業を開始。この事業は、平戸市全体として広く関係者のコンセンサスを得ながら展開しており、首都圏をはじめ関西圏、福岡都市圏へのプロモーションや新たな地域特産品を活かした販路・取引拡大と観光客の誘客を期待するものであり、現在では平戸市の主要施策の一つに挙げられている。</p> <p>(経緯・現状)</p> <p>上記同様</p>

## 事業実績シート

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		25,000,000	25,000,000	25,000,000				
（財源内訳）	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債	25,000,000	24,000,000	24,000,000				
	その他							
	市町振興共同事業助成金		1,000,000	1,000,000				
	一般財源							
成果（活動）指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	市外での食のイベント開催数	ブランド化推進の指標として適当	回	目標			15
					実績			20
				目標達成率（％）			133.3	
	②	平戸の食材を取扱う市外飲食店数	営業実績の指標として適当	店舗	目標			10
					実績			12
				目標達成率（％）			120.0	

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）公共性評価		
	（公益性） <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	（必需性） <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	（2）行政関与の妥当性評価		（3）廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い                      妥当性高い （-）                      0                      （+） 		（影響内容、程度等） 平戸市の主要産業である農林水産業、観光業に大きく貢献している事業であり、この事業なくして今後の平戸市の地方創生はないと思われる。生産者の「生産意欲の向上」や地域における「地場産業の安定と後継者の確保」のためにも必要と思われる。

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果（活動）指標の達成状況		(左記結果となった理由)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標を下回った		積極的な営業活動の成果		
	(2) 成果（活動）指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地				
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)		
	実施予定 期 日	28 年度中	・ 新たな商品メニューの開発 ・ 新たな地域資源の掘り起こし		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)			
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		この事業自体が統合した事業のため			
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)		
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		関係団体等で協議会を組織し、役割分担を行いながら、官民一体の取り組みとなっている。		
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		可能な範囲の受益者負担（出展手数料）を実施している状況である。		

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	■ 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	■ 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	今後も、内容を有効性のあるものとするため、より良い改善に取り組みながら継続して実施していく。				